

3 空気調和設備・換気設備

番号	対策の名称																																		
(2)	設備運転時間の管理																																		
内容	<p>エネルギー消費設備の運転時間を適正に管理することで無駄な運転をなくしエネルギーの使用量を削減します。下表は運転時間管理の例です。</p> <p style="text-align: center;"><運転時間管理の例></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th><th>対策</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">① 休日・季節により停止</td><td>エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止</td></tr> <tr><td>貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止</td></tr> <tr><td>洗浄便座暖房の夏季停止</td></tr> <tr><td>夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減</td></tr> <tr> <td rowspan="9">② 稼働時間短縮制御</td><td>熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入</td></tr> <tr><td>給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止</td></tr> <tr><td>膜ろ過の膜洗浄の頻度・時間の適正化</td></tr> <tr><td>除じん機の運転時間・運転間隔の適正化</td></tr> <tr><td>不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断</td></tr> <tr><td>エレベーターかご内照明、ファン等不使用時停止制御の導入</td></tr> <tr><td>メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化</td></tr> <tr><td>非使用時の電気使用設備の停止</td></tr> <tr><td>熱源不要期間の熱源機器等停止</td></tr> <tr> <td rowspan="5">③ 稼働時間スケジュール管理</td><td>空調起動停止時の熱源運転時間の短縮</td></tr> <tr><td>空調運転時間の短縮</td></tr> <tr><td>空調機の間欠運転制御の導入</td></tr> <tr><td>ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入</td></tr> <tr><td>ファンの間欠運転の実施</td></tr> <tr> <td rowspan="4">④ センサー利用</td><td>省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入</td></tr> <tr><td>照明のタイムスケジュール制御の導入</td></tr> <tr><td>省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入</td></tr> <tr><td>人感センサーによる換気制御の導入</td></tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(東京都トップレベル事業所認定ガイドラインなどを参考に作成)</td></tr> <tr> <td>効果</td><td> <p><複合機を土日に電源を切った場合のシミュレーション(下記条件に基づいた場合の試算例)></p> <p>土日はコピー・プリンタ・FAX 複合機 2 台のうち、1 台の電源を切る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費削減効果 年間 2,156 円 ・CO2 排出削減効果 年間 53.9kg-CO2 <p>(試算条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日 1 日当たり 0.98kWh の節電、年間 110 日として、$0.98 \times 110 = 107.8 \text{ kWh/年}$ ・燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として $107.8 \times 20 = 2,156 \text{ 円/年}$ ・CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として $107.8 \times 0.5 = 53.9 \text{ kg-CO2/年}$ </td></tr> <tr> <td>ポイント</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ・電源に簡易型電力計を取り付けると、積算消費電力が分かります。 </td></tr> </tbody> </table>	分類	対策	① 休日・季節により停止	エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止	洗浄便座暖房の夏季停止	夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	② 稼働時間短縮制御	熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止	膜ろ過の膜洗浄の頻度・時間の適正化	除じん機の運転時間・運転間隔の適正化	不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断	エレベーターかご内照明、ファン等不使用時停止制御の導入	メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化	非使用時の電気使用設備の停止	熱源不要期間の熱源機器等停止	③ 稼働時間スケジュール管理	空調起動停止時の熱源運転時間の短縮	空調運転時間の短縮	空調機の間欠運転制御の導入	ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	ファンの間欠運転の実施	④ センサー利用	省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入	照明のタイムスケジュール制御の導入	省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入	人感センサーによる換気制御の導入	(東京都トップレベル事業所認定ガイドラインなどを参考に作成)		効果	<p><複合機を土日に電源を切った場合のシミュレーション(下記条件に基づいた場合の試算例)></p> <p>土日はコピー・プリンタ・FAX 複合機 2 台のうち、1 台の電源を切る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費削減効果 年間 2,156 円 ・CO2 排出削減効果 年間 53.9kg-CO2 <p>(試算条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日 1 日当たり 0.98kWh の節電、年間 110 日として、$0.98 \times 110 = 107.8 \text{ kWh/年}$ ・燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として $107.8 \times 20 = 2,156 \text{ 円/年}$ ・CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として $107.8 \times 0.5 = 53.9 \text{ kg-CO2/年}$ 	ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・電源に簡易型電力計を取り付けると、積算消費電力が分かります。
分類	対策																																		
① 休日・季節により停止	エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止																																		
	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止																																		
	洗浄便座暖房の夏季停止																																		
	夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減																																		
② 稼働時間短縮制御	熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入																																		
	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止																																		
	膜ろ過の膜洗浄の頻度・時間の適正化																																		
	除じん機の運転時間・運転間隔の適正化																																		
	不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断																																		
	エレベーターかご内照明、ファン等不使用時停止制御の導入																																		
	メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化																																		
	非使用時の電気使用設備の停止																																		
	熱源不要期間の熱源機器等停止																																		
③ 稼働時間スケジュール管理	空調起動停止時の熱源運転時間の短縮																																		
	空調運転時間の短縮																																		
	空調機の間欠運転制御の導入																																		
	ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入																																		
	ファンの間欠運転の実施																																		
④ センサー利用	省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入																																		
	照明のタイムスケジュール制御の導入																																		
	省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入																																		
	人感センサーによる換気制御の導入																																		
(東京都トップレベル事業所認定ガイドラインなどを参考に作成)																																			
効果	<p><複合機を土日に電源を切った場合のシミュレーション(下記条件に基づいた場合の試算例)></p> <p>土日はコピー・プリンタ・FAX 複合機 2 台のうち、1 台の電源を切る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費削減効果 年間 2,156 円 ・CO2 排出削減効果 年間 53.9kg-CO2 <p>(試算条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日 1 日当たり 0.98kWh の節電、年間 110 日として、$0.98 \times 110 = 107.8 \text{ kWh/年}$ ・燃料費削減効果：エネルギー単価を電力 20 円/kWh として $107.8 \times 20 = 2,156 \text{ 円/年}$ ・CO2 排出削減効果：CO2 排出係数を電力 0.5kg-CO2/kWh として $107.8 \times 0.5 = 53.9 \text{ kg-CO2/年}$ 																																		
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・電源に簡易型電力計を取り付けると、積算消費電力が分かります。 																																		